

発展するリハビリテーション医療の「夢ある近未来」

■ リハビリテーションの役割

さまざまな疾患・外傷・病態により生じた機能障害を持つ患者さんご家族のご希望を踏まえて、日常での「活動」である「座る、立つ、歩く、手を使う、見る、聞く、話す、考える、着衣、食事、排泄」などの動作や、「掃除・洗濯・料理・買い物」など家庭での「活動」、さらに就労・余暇も含めた社会での「活動」の実現に向けて支援を行うのがリハビリテーションです。また「障害の予防」も重要です。私達のからだは、動かさないでいる状態が続くと、筋肉が衰え、関節が硬くなり、機能や体力は低下します。ご自身で、あるいは地域の体操教室などに参加して運動習慣を身につけることは、男性 71.5 歳・女性 75.5 歳といわれる健康寿命を延ばすことにもつながります。

■ リハビリテーションの対象疾患

脳血管疾患、骨折など運動器の疾患、発達障害も含めた小児疾患、神経筋疾患、関節リウマチ、心・呼吸器疾患、脊髄損傷、四肢切断、がん、手術や肺炎後の廃用症候群、精神科疾患など様々な障害に対応しています。

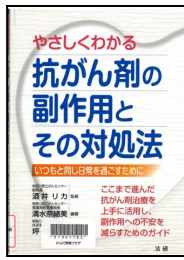
■ 急性期から在宅支援まで一貫したリハビリテーションの提供

当財団のリハビリテーションのスタッフは総勢 207 名（兼務含め医師 7 名、理学療法士 101 名、作業療法士 77 名、言語聴覚士 15 名、義肢装具士 3 名、他 4 名）です。本院の急性期病床から回復期病床、そして芦ノ牧温泉病院、老健施設「エミネンス芦ノ牧」、訪問リハビリテーション「Life」、通所リハビリテーション「TRY」、認知症専門デイサービス「OASIS」、竹田訪問看護ステーション、小規模多機能型居宅介護「オレンジ」、総合発達支援プラザ「ふらっぷ」、若松第 2 地域包括支援センター、ただでテクノエイドセンター（多種類の福祉用具のレンタル・販売、装具作製販売）などに配属され、急性期から在宅支援に至る一貫したリハビリテーションを提供しております。ご利用方法を知りたい方は、当院の「まると相談窓口」0242-29-9700 までお尋ねください。

■ リハビリテーションの発展と「夢ある近未来」

近年、神経科学分野の研究により、脳は損傷を受けても集中的なリハビリにより機能の再編成が生じ、一定条件下で麻痺の改善が期待できること（脳の可塑性）が分かってきました。脳の可塑的变化に基づくリハビリテーションは「ニューロリハビリテーション」と呼ばれており、筑波大学の HAL やトヨタ自動車のウェルウォークなどのロボットや仮想現実 virtual reality を使った訓練、非侵襲的な脳・神経・筋への磁気刺激・電気刺激など、年々急速に発展しています。また急性期の患者さんに対する「再生医療」として、札幌医科大学の脳梗塞と脊髄損傷への「自家骨髄間葉系幹細胞移植」や、脳梗塞への東北大学の「MUSE 細胞」などが販売あるいは治験段階となっており、喜ばしいことに麻痺肢の驚くほどの回復も現実となっています。





やさしくわかる抗がん剤の副作用とその対処法 酒井リカ著(法研)
日常ケアをはじめとした、ちょっとした工夫で副作用の予防や軽減ができることが書かれています。ぜひ役立ててほしい本です。



「ボケたくない」という病: 知識ゼロからの認知症入門 和田秀樹著(世界文化社)
「ぼけたくない」という病の正体は何か。認知症のプラボケを迎え撃つ52の戦略を紹介！おすすめの一冊です。



患者さん向け耳鳴診療 Q&A 日本聴覚医学会著(金原出版)
日頃耳鳴りで悩まされている方のために、患者さんの抱く疑問をQ&Aとして一般向けに分かり易く解説された本です。



ママは躁うつ病 文月ふう著(星和書店)
漫画で読む躁うつ闘病記！周囲のひとになかなか理解されない「躁うつ病、統合失調症」を患う人の気持ちが痛いほどわかる1冊です。



イラストでわかる患者さんのための呼吸リハビリ入門 上月正博著(中外医学社)
呼吸リハビリの本が一般向けに初めて出ました。イラスト中心のとても分かり易い本です。



「がんになって良かった」と言いたい 山口雄哉著(世界文化社)
「がんになってよかった」とつづる深い思いが、こころをうちます。著者は今年6月まで頑張りました。

お 勧 め の 一 冊

『自律神経の名医が教える ココロとカラダの疲れとり大全』

コロナ禍の今、「ココロとカラダ」の問題がクローズアップされているのはご存知でしょうか？
自宅にいる時間が長くなったことで運動する機会が少なくなり筋力の低下が見られたり、他者との会話が少なくなったことでうつ病や統合失調症などの増加が見られたりと、様々な心と体の問題が見られます。このような問題がある中で関係してくるのが自律神経であり、この自律神経を整えることによって心と体の状態が良くなるそうです。

この本には心と体の不調を改善するために行うと良い簡単な習慣（自律神経を整える習慣）について、朝・昼・夜・休日別に書かれています。心と体に不調を感じている方や生活の改善をしたいと思っている方などにピッタリの一冊となっておりますので、ぜひ参考にいただければと思います。



(放射線科 鈴木梨紗)

【お知らせ】

今年は猛暑・コロナ禍にあり、思うように外出もできず、気分が落ち込みがちではありませんか？
ご自分やご家族ががんの告知を受けた、またはがんのことで悩んでいる等、ご心配や不安なことがありましたら“がん相談支援センター”までご連絡ください。必要時には専門分野に繋ぐことも可能です。
一日でも早く多くの人がコロナワクチンを接種し、食事会や旅行などが可能になれば嬉しいですね。